

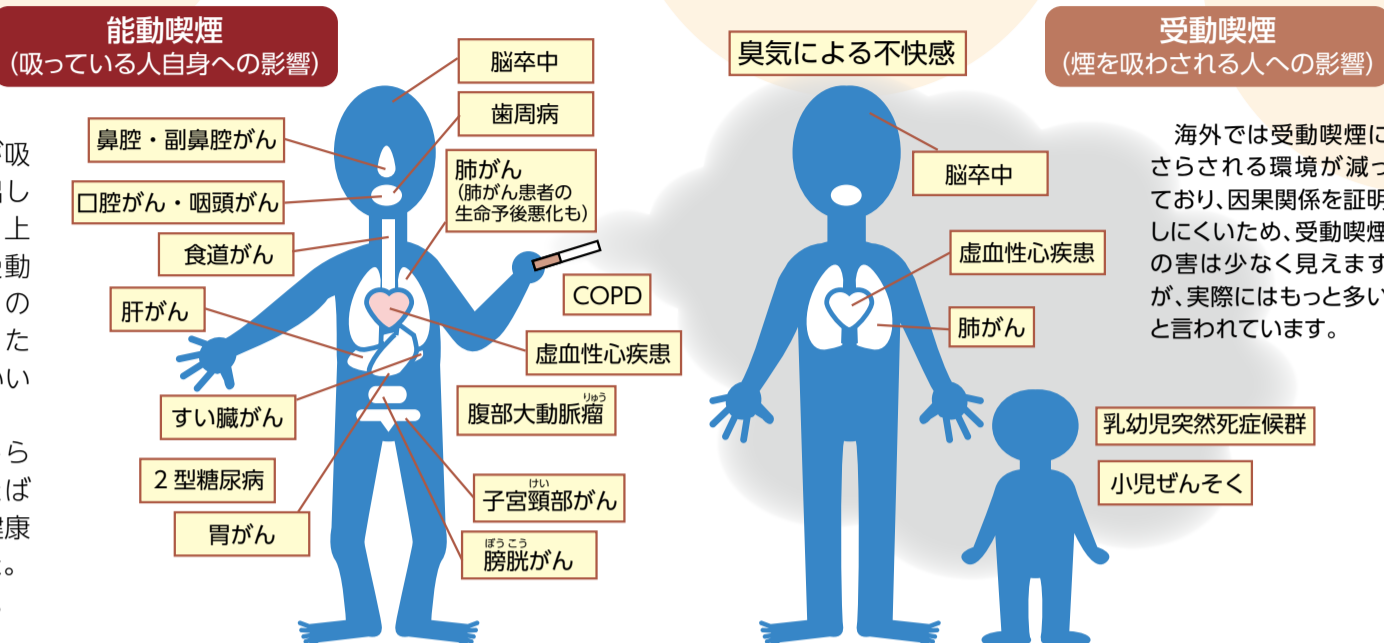
受動喫煙のない社会を目指して

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、受動喫煙対策が進められています。受動喫煙は健康に悪影響を与えることが科学的に明らかになっています。あなたとあなたの大切な人のために「スモークフリー(たばこの煙のない環境)」を目指しましょう。この特集のお問い合わせは、健康づくり課 483-4646へ。

健康への影響

たばこの煙には、喫煙者が吸う「主流煙」、喫煙者が吐き出した「呼出煙」、たばこから立ち上がる「副流煙」があります。受動喫煙とは、文字通り「受け身」の「喫煙」で、他人の吸っているたばこの煙を吸いこむことをいいます。

28年8月に厚生労働省から「喫煙と健康」という通称「たばこ白書」が発表され、改めて健康への影響が明確になりました。右図は、その主なものです。

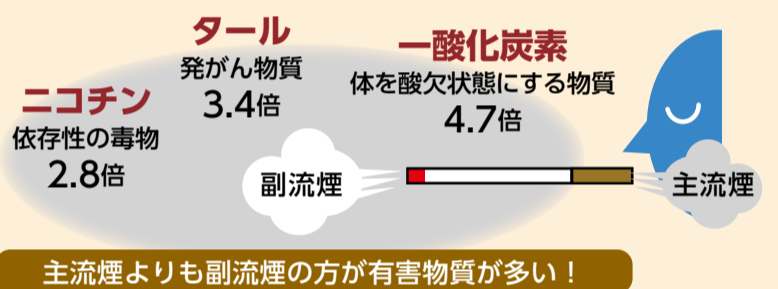


その他の能動喫煙の害

- *がん患者の「二次がん」(治療として受けた抗がん剤や放射線治療により白血病などの別のがんが発生すること)のかかりやすさが高まる
- *末梢動脈硬化(手足へ通じる動脈が狭くなったり詰まったりして血流が悪くなる)
- *妊婦の喫煙では、早産、低出生体重児・胎児発育遅延、乳幼児突然死症候群が増加

受動喫煙の危険性

副流煙は多くの有害物質を含んでいます。例えば、シックハウス(建材などから発生する化学物質で室内の空気が汚染され、健康に影響が出ること)の基準の1つであるアセトアルデヒドは、指針値は1㎡当たり48μg(マイクログラム)です。副流煙には、少なくともたばこ1本あたり1,683μg含まれるので、吸収や換気がない場合、たばこ1本を燃やすと6畳半(35㎡)ほどの部屋ならシックハウス指針値を超えてしまいます。このことから、副流煙が周囲のたばこを吸っていない人に与える影響が大きいことがわかります。



お店に入る前に、わかると安心

千葉県では、喫煙環境表示ステッカーを作成しました。受動喫煙対策に取り組む飲食店などを対象に配布しています。飲食店や宿泊施設などに入る前に、喫煙環境(禁煙・分煙など)がわかると、たばこを吸う人も吸わない人も、お店を選びやすくなります。

詳しくは



みんなで活用しよう!ロゴマーク

このロゴマークは、受動喫煙のない社会を目指すことに賛同する意思表示として使用するものです。どのような団体や個人でも自由にステッカーやバッジなどのデザインに使用できます。詳しくは厚生労働省のホームページでロゴマーク使用のガイドラインを参照してください。



詳しくは

たばこをやめたい人へ

たばこをなかなかやめられないのは、ニコチンに依存性があるからです。ニコチンガムなどの禁煙補助剤を使ったり、専門家のサポートを受けながら禁煙にチャレンジしましょう。市内には、禁煙治療などを行っている医療機関があります。



詳しくは

広告

広告